

第 6 期（2022 年度） 事業計画書

（2022 年 8 月 1 日から 2023 年 7 月 31 日まで）

定款第 4 条に定める事業の充実を図り、財団の管理運営を遺漏なく行い、本財団に対する関係各者の一層の理解を深めるため次のとおり各事業を実施する。

1. 生物学及び周辺分野における基礎研究の助成事業 【 予算 61,417 千円 】

基礎科学（一般）及び 基礎科学（酵母）研究の助成

世界に先駆けて生物学及び周辺の新分野を拓き得る先見性・独創性に優れた基礎研究、国や公的機関による助成がなされにくい基礎研究、及び任期切れ・定年等により継続が困難となる基礎研究に対して、基礎科学（一般）として総額 48,000 千円の研究助成を行う。

また、日本における酵母研究は国際的にも高く評価されてきたが、研究の拠点が急速に、かつ全国規模で失われつつあり、酵母研究の底上げの必要性が極めて高い現状に鑑み、酵母の生理現象を対象とした基礎生物学的研究に対して、基礎科学（酵母）として総額 12,000 千円の研究助成を行う。

研究助成の選考審査費用として 1,302 千円、通信費等の諸経費として 115 千円、計 61,417 千円を計上する。

[予算 61,417 千円]

2. 研究者と社会との新たな連携を構築する事業 【 予算 22,241 千円 】

(1) 創発セミナー（企業経営者・研究者、大学等研究者との勉強会・交流会）

基礎科学の先端的研究者と企業の第一線の研究開発者が一堂に会し議論する中で気づきを得ることを目指し、年 10 回開催する（下表参照）。対面開催 6 回（第 1、2、4、7、8、10 回）、オンライン開催 4 回を予定する。セミナー参加費は 3,000 円（招待者を除く）、オンラインセミナー及び感謝の集いは参加無料とし、交流会参加者には 3,000 円の実費負担を求める。

回	時期	内容
1	2022/10	セミナー
2	2022/10	アドバイザー会議：財団のアドバイザーと財団の研究者等で、財団の活動及び大学と企業のより有効な関係構築等について議論を行う。
3	2022/11	酵母コンソーシアム：酵母を材料とする一般生物学研究
4	2022/12	講演会*及び研究助成贈呈式
5	2023/2	セミナー
6	2023/3	アドバイザー会議
7	2023/4	セミナー
8	2023/5	酵母コンソーシアム
9	2023/6	セミナー
10	2022/7	感謝の集い：本財団の支援者を対象として財団の活動報告及び講演会を行う。

講師謝金、旅費交通費、セミナー会場費、会議費、通信費、消費税等として、5,711 千円を計上する。

[予算 5,711 千円]

(2) 市民講座の開催（市民及び学生を対象とした基礎科学の普及啓発活動）

市民及び学生に基礎科学の面白さや大切さを理解してもらい、科学の振興を支援する文化の醸成及び地域社会への貢献に資するため、年1回、市民講座を開催する。今期は8月にウェビナーにて開催する。講師謝金、会場費、通信費等として、92千円を計上する。

[予算 92千円]

(3) 小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集いの開催

次世代を担う小中高生に将来基礎研究者として活躍して欲しいという願いを込めて「小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」を年2回開催する。9月25日（日）に兵庫県姫路市において開催予定で、第一線の研究者による講演のほか、大学や企業の協力を得て、実験や観察を体験できる科学体験ブースを企画している。2回目は、2023年3月11日（土）に福井県福井市において開催予定である。講師謝金、体験ブースに協力する学生アルバイト謝金、会場費、旅費交通費、通信費等として、994千円を計上する。

[予算 994千円]

(4) 微生物機能探究コンソーシアム（略称、微生物コンソーシアム）

アカデミアと企業が協力して微生物学の振興をはかることを目的として活動する。

アカデミア及び企業からの委員で構成される運営委員会において、運営方針、活動計画・予算、及び活動報告・決算報告の審議・承認を行い、直近の理事会に上申する。活動の中心となるバーチャル研究所では、4つの研究グループごとに定例会を開催して議論を進める。定例会はグループごとのオンライン開催を基本とするが、年6回のうち対面開催1回、研究所訪問1回を行うことを企画する。4グループ全体で議論する全体会を年3回（オンライン2回、対面1回）開催する。活動には微生物コンソーシアム参加企業からの年会費を充てる。

講師謝金、旅費交通費、会場費、会議費等として2,870千円、研究委託費として11,000千円、消費税1,146千円、計15,016千円を計上する。

[予算 15,016千円]

(5) 企業の課題解決に向けた相談対応

企業から課題に関する相談があった場合に助言、研究者の紹介等を行う。収益事業として実施する。年間1件を見込み、協力研究者への謝金、旅費交通費、法人税、消費税等として、428千円を計上する。

[予算 428千円]

(6) 基礎科学の普及のための書籍、教科書等の発行

書籍発行に向けた企画、資料の収集等、準備を行う。今期の予算計上はなし。

[予算 0千円]

3. 事業推進【予算13,415千円】

前記1及び2の事業を適切に運営するための事業推進費を設け推進する。

前年度に引き続き、財団の事業紹介や情報開示を積極的に行い、寄付金や会員募集に努める。

4. 管理業務【予算13,754千円】

財団運営に係わる管理業務については、理事会、監事監査、評議員会を開催するとともに、行政庁への届出等対応業務やその他の諸業務を適切に行う。

以上